

（編集後記）

本号には日本語学三篇、上代文学一篇、中古文学二篇、近世文学一篇、近代文学三篇の論考を掲載いたしました。目次を見るだけで、本学の卒業生が自己の専門を生かしながら多方面で活躍していることが分かります。卒業生および在学生、教員が研究成果を発表できる場として、本誌が継続して発行されることは重要であると考えますので、今後も質の向上とものに着実な発展を目指します。